

V. 品 種 の 特 性

1. 【男爵薯】 (Irish Cobbler)



明治41年、川田龍吉男爵が英国より導入、昭和3年に北海道の生食用の優良品種。早生、草丈は低い、花色は淡赤紫、扁球形、目は深い、粒揃い良、皮色は黄白、肉色は白、粒は中、でん粉価14～16%、貯蔵性は良、大いもに中心空洞、褐色心腐は少、疫病に弱、肉質は粉。



2. 【メークイン】 (May Queen)



大正6年、英国より導入、昭和3年に北海道の生食用の優良品種。中生、草丈は中、花色は白地に紫が絞り模様 distributes、長卵形、目は浅い、皮色は淡黄褐、肉色は黄、でん粉価14%、煮崩れ少、肉質はやや粘、低温貯蔵で甘みが増す、各種病害に弱い、緑化し易い、二次生長し易い。



3. 【紅 丸】



北海道農試で育成、昭和13年に北海道のでん粉原料用の優良品種。晩生、草丈は中、花色は白、花数は多、卵形、粒揃い良、皮色は淡紅、表皮は滑、目は浅い、肉色は白、肉質はやや粘、大粒が多く多収、でん粉価14～17%、でん粉収量多、でん粉特性良、疫病に弱。



4. 【農林1号】



北海道農試で育成、昭和18年に北海道の兼用(生食用・加工食品用、でん粉原料用)の優良品種。中晩生、草丈は中、花色は白、花数は多、扁卵～扁球形、粒揃良、目やや深、多収、でん粉価15～17%、肉質やや粉。



5. 【エニワ】



北海道農試で育成、昭和36年に北海道のでん粉原料用の優良品種。中晩生、草丈は中、花色は白、扁球形、皮色は淡褐、表皮は全面ネット状、目はやや浅い、肉色は白、いも着き疎、やや多収、でん粉価17～19%、チップにも向く、中心空洞・褐色心腐は多(別名：まりも)。



6. 【ワセシロ】



北海道立根釧農試で育成、昭和49年に北海道の加工食品・生食兼用の優良品種。肥大性の速い早生、草丈は低い、花色紫、花数少、卵球形、皮色淡黄白、目はやや深、肉色白、肉質やや粉、でん粉価14～16%、中心空洞がでにくい、二次生長無(別名：伯爵、ネオ男爵)。



7. 【トヨシロ】



北海道農試で育成、昭和51年に北海道の加工食品用の優良品種。中早生、草丈はやや低い、花色は白、扁卵形、目は浅く、粒揃い良、皮色は黄褐、弱いネット、肉色は白、肉質はやや粉、大粒、でん粉価15～17%、油加工に好適、休眠は長い、貯蔵性は良。



8. 【ホッカイコガネ】



北海道農試で育成、昭和56年に北海道の加工食品用の優良品種。中晩生、草丈はやや高い、花色淡紫、長楕円形、粒揃良、皮色淡褐、弱いネット、目浅く、肉色黄～淡黄、大粒、でん粉価15～17%、肉質はやや粘、腐敗やや強く、疫病強、休眠長(別名：北海黄金、黄金メーク)。



9. 【コナフブキ】



北海道立根釧農試で育成、昭和56年に北海道のでん粉原料用の優良品種。中晩生、草丈は中、花色は淡赤紫、皮色は淡黄褐、目はやや浅、肉色は白、扁球形、収量は紅丸よりやや少、でん粉価19～22%、でん粉収量は多収、疫病に強い、休眠は長い。



10. 【キタアカリ】



北海道農試で育成、昭和62年に北海道の生食用の優良品種。早生、花色は赤紫、花弁先白、扁球形、皮色黄白、目に赤紫色、目の深さ中、肉色黄、肉質やや粉、でん粉価15～17%、ビタミンC含量多、水煮後黒変は無、疫病弱、シスト抵、貯蔵性はやや劣る(別名：黄金男爵)。



11. 【とうや】



北海道農試で育成、平成4年に北海道の生食用の優良品種。早生、草丈は短い、茎数は少、花色は白、球形、粒揃い良、皮色は黄、表皮はやや粗い、目浅い、肉色は黄、大粒、粒揃い良、煮崩れ少、肉質は滑、でん粉価13～16%、ビタミンC含量多、稀に裂開あり、中心空洞無、シスト抵。



12. 【ムサマル】



北海道立根釧農試で育成、平成4年に北海道の加工食品用の優良品種。中晩生、草丈はやや高、花色は赤紫、卵形、皮色は黄褐、表皮は粗、肉色は淡黄、大粒が多く、多収、でん粉価17～20%、疫病にやや強、褐色心腐はやや発生、フレンチフライに向く、肉質は粉、シスト抵。



13. 【アトランチック】 (Atlantic)



カルビーポテト(株)が米国より導入、平成4年に北海道の加工食品用の優良品種。中生、草丈は低い、花色は淡青紫、球形、粒揃い良、皮色は淡褐、表皮は粗、目は浅い、肉色は白～クリーム、でん粉価16～17%、肉質は粉、褐色心腐あり、休眠は長い、シスト抵。



14. 【マチルダ】 (Matilda)



ホクレンがスウェーデンより導入、平成5年に北海道の生食用の優良品種。中晩生、草丈はやや高い、花色は白、卵形、皮色は黄、表皮少しラセット、肉質は淡黄、小粒、でん粉価15～18%、水煮後黒変・煮崩れ少、ホールポテト・サラダなどに最適、休眠やや長。



15. 【アスタルテ】 (Astarte)



北海道澱粉工業協会とホクレンが共同でオランダより導入、平成5年に北海道のでん粉原料用の優良品種。晩生、草丈は高い、花色は赤紫、卵～長卵形、皮色は黄白、肉色は黄白、やや小粒、でん粉価18～21%、でん粉特性良、いも収量やや多、疫病に強い、休眠長、シスト抵。



16. 【ベニアカリ】



北海道農試で育成、平成6年に北海道の生食用の優良品種。中生、草丈は中、花色は赤紫、楕円形、皮色は赤、粒揃い良、表皮は滑、目はやや浅い、肉色は白、肉質は粉、粒大・収量は男爵薯より多、でん粉価19～20%、煮崩れ多、コロッケに最適、シスト抵。



17. 【さやか】



北海道農試で育成、平成7年に北海道の生食用の優良品種。中生、草丈はやや低い、花色は白、卵形、皮色は白、外観優れる、肉色は白、目は浅い、大粒、粒揃い良、でん粉価15%、休眠はやや長、中心空洞・褐色心腐は少、サラダ、煮物に好適、緑化しにくい、シスト抵。



18. 【花標津】



北海道立根釧農試で育成、平成9年に北海道の生食用の優良品種。中晩生、草丈はやや高い、花色は赤紫で鮮やか、扁球形、目は深い、皮色は淡赤、肉色は淡黄、やや小粒、収量は農林1号並、でん粉価14～16%、疫病に無防除栽培が可能(クリーン農業向き)、シスト抵。



19. 【ノースチップ】



ホクレンで育成、平成11年に北海道の加工食品用の優良品種。中早生、草丈は中、花色は赤紫、球形、皮色は黄褐、目はやや浅、表皮はやや粗、粒揃い良、肉色は白、小粒、でん粉価15～16%、肉質は中、食味はトヨシロ並、還元糖含量少、チップカラー良、低温貯蔵が可能。



20. 【十勝こがね】



北海道農試で育成、平成12年に北海道の生食用の優良品種。早生、草丈は短い、花色は白、楕円形、目はごく浅い、皮色は白黄、肉色は淡黄、いも数少、大粒、収量は男爵薯より少、でん粉価15～17%、肉質はやや粉、休眠期間が極長、出芽が遅い、シスト抵。



21. 【ユキラシャ】



北海道農試で育成、平成12年に北海道の生食用の優良品種。中早生、草丈は中、花色は白、楕円形、皮色は褐、表皮は粗く、ラセット皮が特徴、肉色は白、目はごく浅い、でん粉価16～17%、肉質はやや粉、煮崩れ中、そうか病に強、休眠が長い、初期生育は劣、シスト抵。



22. 【スノーデン】 (Snowden)



カルビーポテト(株)が米国より導入、平成12年に品種登録した加工食品用品種。中晩生、草丈はやや高い、花色は白、球形、目は浅い、皮色は褐、表皮は粗、肉色は白、やや低収、でん粉価14～16%、ふく枝が長い、肉質は中、低温長期貯蔵でチップ適性良、塊茎腐敗は強。



23. 【きたひめ】



ホクレンで育成、平成13年に北海道の加工食品用の優良品種。中生、丈はやや低い、花色は白、球～扁球形、皮色は黄白、目はやや浅い、肉色は白、いも数は中、大粒、収量は農林1号並、でん粉価15～16%、長期低温(6℃)貯蔵のチップカラーが優れる、シスト抵。



24. 【ひかる】



ホクレンで育成、平成15年に北海道の生食用の優良品種。中晩生、草丈は中、花色は紫、扁球形、皮色は黄褐、目は浅い、肉色は淡黄、でん粉価14～17%、粒は大、多収、肉質はやや粉、煮崩れ中、中心空洞・調理後黒変は微、疫病は弱、サラダ向き、シスト抵。



25. 【キタムラサキ】



北海道農研センターで育成、平成16年に北海道の生食用の優良品種。中晩生、草丈はやや低い、花色は白、倒卵形、目は浅く、粒揃い良、皮色は紫、肉色は紫、二次色が白、多収、粒は大、でん粉価17%、中心空洞・褐色心腐は無、アントシアニン含量が多い、シスト抵。



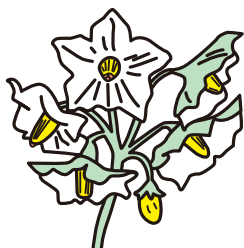
26. 【オホーツクチップ】



北海道立北見農試で育成、平成16年に北海道の加工食品用の優良品種。早生、草丈はやや低い、花色は白、球形、目は浅い、皮色は褐、粒揃い良、肉色白、小粒、ワセシロ並収量、でん粉価17～18%、休眠短、肉質やや粉、中心空洞・褐色心腐は微、そうか病は中、シスト抵。



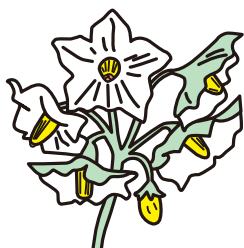
27. 【スノーマーチ】



北海道立北見農試で育成、平成16年に北海道の生食用の優良品種。中生、草丈はやや短い、花色は白、倒卵形、皮色は白黄、肉色は白、目は浅い、中粒、男爵薯より多収、でん粉価16～18%、煮崩れ、水煮後黒変は少、休眠はやや短、そうか病は強、シスト抵。



28. 【ゆきつぶら】



北海道立北見農試で育成、平成17年に北海道の生食用の優良品種。早生、草丈はやや低い、花色は白、扁球形、皮色は白黄、目はやや浅い、肉色は白、やや小粒、男爵薯より多収、でん粉価15～16%、肉質はやや粘、食味は中上、休眠はやや長、シスト抵。



29. 【らんらんチップ】



北海道農業研究センターで育成、平成17年に北海道の加工食品用の優良品種。中早生、草丈は中、花色は白、倒卵形、皮色黄褐、目は浅い、肉色は黄白、いも数はやや多、やや小粒、トヨシロ並の収量、でん粉価16～18%、チップカラーはトヨシロ並、中心空洞は無、休眠は中、シスト抵。



30. 【レッドムーン】



(株)サカタのタネがアメリカから種子を導入して育成、平成3年に品種登録、平成8年に北海道の生食用の地域在来品種等。晩生、草丈はやや短い、花色は赤紫、長楕円形、皮色は赤、肉色は黄、ふく枝は長、いも数は多、でん粉価は低い、肉質は粉、煮崩れ少、休眠は短。



31. 【プレバレント】 (Prevalent)



北海道澱粉工業協会がオランダより導入、平成11年に北海道の生食用の地域在来品種等。晩生、草丈は中、花色は濃赤紫、短卵～球形、皮色は黄白、目はやや深い、表皮は粗、肉色は黄、コナフブキ並の収量、でん粉価19%、肉質は粉、休眠は長い、シスト抵。



32. 【アンデス赤】 (レッドアンデス)



神戸大学で育成、平成4年に岡山県の暖地用二期作の優良品種、平成13年に北海道の生食用の地域在来品種等。中晩生、草丈はやや低い、花色は赤紫、球～扁卵形、皮色は紅、肉色は黄、中・大粒は多、多収、でん粉は低い、肉質は粉、疫病に弱、休眠は短。



33. 【インカのめざめ】



北海道農試で育成、平成15年に北海道の生食用の地域在来品種等。ごく早生、草丈は低い、花色は淡紫、卵形、皮色は黄褐、目は浅い、目の周囲に紫の着色、肉色は濃黄、小粒、でん粉価16～18%、煮崩れ少、食味は栗のような風味、休眠はごく短。



34. 【インカパープル】



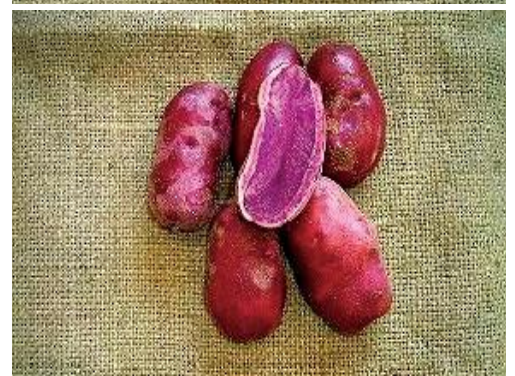
北海道農研センターと和田製糖(株)の共同育成、平成15年に北海道の生食用道の生食用の地域在来品種等。中晩生、草丈は高い、花色は紫、楕円形、粒揃いはやや否、皮色は紫、目は浅い、肉色は紫、でん粉価20%、肉質はやや粘、食味は中、休眠はごく長。



35. 【インカレッド】



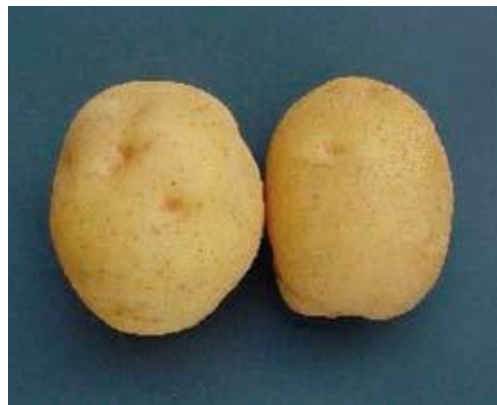
北海道農研センターと和田製糖(株)の共同育成、平成15年に北海道の生食用の地域在来品種等。中晩生、草丈は高い、花色は白、楕円形、目は浅い、皮色は赤、表皮は滑、肉色は赤、小粒、少収、でん粉価11%、休眠は長、アントシアニン含量は多。



36. 【529-1】



GHQのE.J.Wheelerが昭和23年にアメリカより導入、平成15年に北海道の生食用の地域在来品種等。中早生、草丈は中、花色は白、扁球形、皮色は黄白、外観良、肉色は黄白、やや大粒、でん粉価は低い、食味は中、裂開多、疫病による腐敗は多、そうか病にやや強い(別名：北一)。



37. 【シェポディー】 (Shepody)



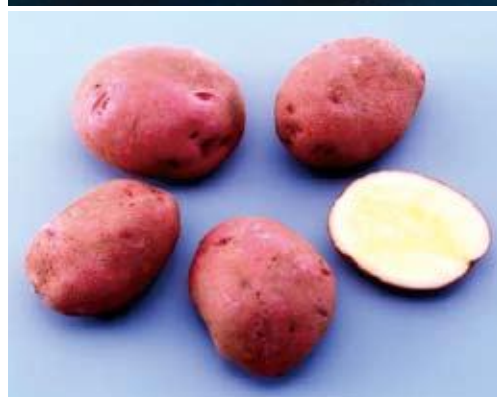
カルビーポテト(株)がカナダより導入、平成15年に北海道の加工食品用の地域在来品種等。中生、草丈は高い、花色は赤紫、長楕円形、目は浅い、皮色は白黄、肉色は白、いも数少、粒は大、収量は中、でん粉価12～15%、煮崩れ少、ポテトチップ用、疫病に弱い。



38. 【スタールビー】



北海道農研センターで育成、平成16年に北海道の生食用の地域在来品種等。中生、草丈は中、花色は赤紫、形は扁球、皮色は赤、目は浅い、肉色は黄、収量・いも数は少、一個重は中、でん粉価17～19%、中心空洞多、良食味、肉質はやや粉、休眠は長、シスト抵。



39. 【北海50号】



北海道農試で昭和44年に「北海50号」として育成、平成16年に北海道の生食用の地域在来品種等。早生、草丈は低い、花色は白、球形、粒揃い良、皮色は淡黄、目はやや浅、肉色は白、粒は大、いも数少、でん粉価12%、肉質はやや粘、早期肥大性は優る。



40. 【デジマ】



長崎県総合農林試で育成、昭和46年に暖地二期作用の生食用の優良品種。中晩生、草丈は中、花色は白、扁球形、外観良、皮色は淡黄～黄白、肉色は淡黄、農林1号より多収、でん粉価11～15%、肉質はやや粉、ふく枝やや長、休眠は短い。



41. 【ニシユタカ】



長崎県総合農林試で育成、昭和53年に暖地二期作用の生食用の優良品種。中晩生、草丈は短い、花色は白、扁球形、皮色は淡黄、目は浅い、表皮はやや粗、外観良、肉色は淡黄、でん粉価10～13%、多収、粒大、早期肥大性は優る、ふく枝の離れ悪い、休眠は短。



42. 【アイノアカ】



長崎県総合農林試で育成、平成6年に暖地二期作用の生食用の優良品種。中生、草丈は中、花色は淡赤紫、楕円形、皮色は淡赤、目も赤色、愛らしい外観、目は浅い、肉色は淡黄、いも数多、粒は小、でん粉価11～13%、肉質はやや粘～中、食味良、そうか病・青枯病やや強い。



43. 【普賢丸】



長崎県総合農林試で育成、平成9年に暖地二期作用の生食用の優良品種。中早生、草丈は短い、花色は白、球形、外観良、目は浅い、皮色は黄、肉色は淡黄、粒はデジマより小さい、春作でデジマ並の収量、でん粉価12～13%、肉質はやや粘、良食味、早期肥大性は優れる、シスト抵。



44. 【春あかり】



長崎県総合農林試で育成、平成14年に暖地二期作用の生食用の優良品種。中早生、草丈は短い、花色白、短楕円～楕球形、皮色白黄、目は浅い、肉色黄白～淡黄、いも数多、粒小、収量多～少、でん粉価11～12%、良食味、早期肥大性は勝る、そうか病にやや強、シスト抵。



45. 【アイユタカ】



長崎県総合農林試で育成、平成15年に暖地二期作用の生食用の優良品種。中生、草丈は短い、花色は赤紫、短楕円～扁球形、皮色は赤紫、目は浅く、表皮はやや滑、肉色は淡黄～黄白、粒大、いも数中、収量は多～やや少、でん粉価10～11%、肉質は中～やや粘、シスト抵。



46. 【シンシア】 (Cynthia)



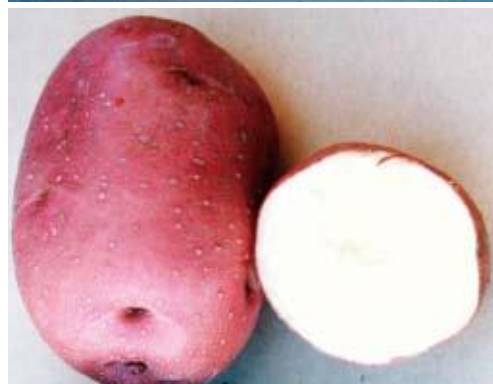
キリンビール(株)がフランスより導入、平成15年に品種登録された生食用品種。中生、草丈はやや長、花色は白、長楕円形、やや大粒、皮色は白黄、目は浅い、肉色は淡黄、肉質は中、煮崩れは微、良食味、多収、いも数・粒は中、でん粉価14%、ごく大いもに中心空洞が出ることもある、休眠やや長。



47. 【ジャガキッズレッド'90】



キリンビール(株)が育成、平成6年に種苗登録した生食用品種。中晩生、形は扁卵、目はやや浅い、皮色は赤、肉色は黄、ビタミンC多い、休眠は短い、サラダなどに向き。



48. 【ジャガキッズパープル'90】



キリンビール(株)が育成、平成6年に種苗登録した生食用品種。中晩生、形は扁卵、目はやや深い、皮色は濃紫、肉色は黄、サラダなどに向き、休眠は短い。



49. 【ノーザンルビー】



北海道農研センターで育成、平成17年に北海道の生食用の地域在来品種等。中早生、草丈は中、花色は白で、星形に赤紫二次色、やや楕円形、皮色は赤、目は浅、肉色は赤、いも数少、収量は少、粒やや大、でん粉価は低、肉質はやや粘、食味は中、休眠やや長、シスト抵。



50. 【シャドークイーン】



北海道農研センターで育成、平成17年に北海道の生食用の地域在来品種等。中晩生、草丈はやや長、花色は白で、星形に紫二次色、長楕円形、皮色は紫、目は浅、肉色は紫、いも数は少、収量はやや少、粒は中、でん粉価は中、肉質は中、食味は中上、休眠期間は中。



51. 【インカのひとみ】



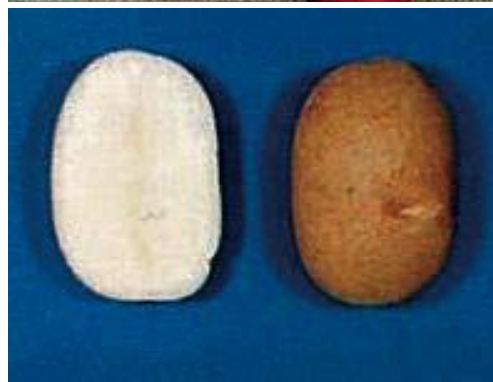
北海道農研センターで育成、平成17年に北海道の生食用の地域在来品種等。早生、草丈はやや短、花色は赤紫、倒卵形、皮は一次色黄褐、二次色淡赤、目は浅、肉色は橙、いも数やや多、収量ごく少、粒ごく小、でん粉価は中、肉質はやや粘、食味は上、休眠はごく短。



52. 【ノーキングラセット】 (Norking Russet)



カルビーポテト(株)が米国より導入。平成15年に北海道の加工食品用の地域在来品種等。早生、草丈はやや低い、花色は赤紫、楕円形、皮色は褐、肉色は白、いも数是中、一個重は小さく、いも重は少ない、でん粉価は中、水煮後黒変あり、そうか病に強い、ポテトチップス加工適性。



53. 【北海98号】



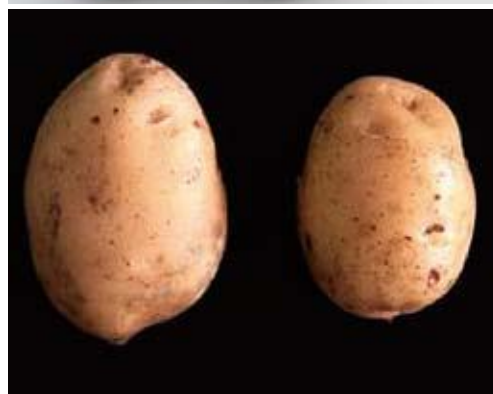
北海道農研センターで育成、平成20年に北海道の生食用の地域在来品種等。ごく早生、草丈は低い、花色は淡紫、卵形、皮色は赤、肉色は橙、一個重は約50g、収量はごく少、でん粉価は16～18%、食味は上、ナッツ風味、カロテノイド系色素は多い、休眠はごく短い。



54. 【セトユタカ】



長崎県総合農林試で育成、昭和52年に暖地二期作用の生食用の優良品種。中早生、草丈はやや低い、花色は白、扁球形、皮色は淡黄～黄、目は浅い、肉色は淡黄、いも肥大開始は早い、いも数は少、でん粉価は中、食味は上、休眠は短い。



55. 【サクラフブキ】



北海道立根釧農試で育成、平成6年に北海道のでん粉原料用の優良品種。ごく晩生、草丈は低い、花色は赤紫、扁球形、皮色は黄褐、目はやや深い、目は淡赤色、肉色は白、「コナフブキ」に比べ、いも数は並、一個重は重い、収量は並、でん粉価は21～23%、でん粉重は「コナフブキ」より多い、Yモザイク病抵抗性、シスト抵。



56. 【アーリースターチ】



北海道農試で育成、平成8年に北海道のでん粉原料用の優良品種。中生、草丈は中、花色は赤紫、扁球形、皮色は白黄、肉色は白、いも数はやや少、早期肥大性、9月上旬で、でん粉価は約16%、収量は「紅丸」の9割、でん粉重は「紅丸」並、でん粉の灰分、りん含量は「コナフブキ」並、シスト抵。



57. 【ナツフブキ】



北海道立北見農試で育成、平成15年に北海道のでん粉原料用の優良品種。中生、草丈は中、花色は赤紫、球形、皮色は黄褐、肉色は白、早期肥大性、いも数はやや多、一個重は中、収量は中、でん粉価は20～23%、早掘りのでん粉重は「コナフブキ」並、シスト抵。



58. 【さやあかね】



北海道立北見農試で育成、平成18年に北海道の生食用の優良品種。中生、花色は赤紫、扁球形、皮色は淡赤、目の深浅は中、肉色は黄白、収量は中、粒は小さい、でん粉価は14～18%、肉質はやや粉、食味は中、コロッケ加工適性、休眠はやや短い、疫病に無防除栽培可能、シスト抵。



59. 【こがね丸】



北海道農研センターで育成、平成18年に北海道の加工食品用の優良品種。中晩生、草丈はやや高い、花色は赤紫、楕円体、皮色は黄褐、目は浅い、肉色は淡黄、いも数は中、収量は多い、粒は大きい、でん粉価はやや高い、肉質は中、休眠はやや長い、フレンチフライ加工適性、シスト抵。



60. 【はるか】



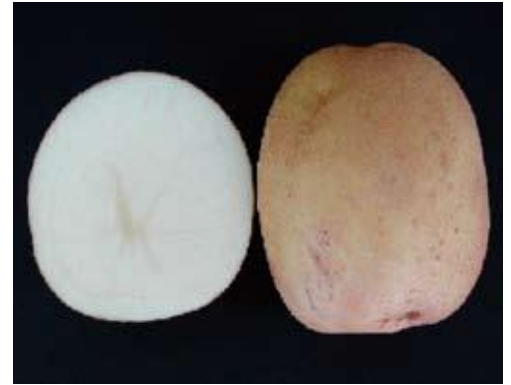
北海道農研センターで育成、平成19年に北海道の生食用の優良品種。中生、草丈はやや高い、花色は赤紫、倒卵形、皮色は白、目は淡赤、目はやや浅い、肉色は白、収量は中、粒大は中、でん粉価は中、肉質はやや粘、青枯病にやや強い、チップ、フライ適性は中、コロッケ加工適性、シスト抵。



61. 【きたかむい】



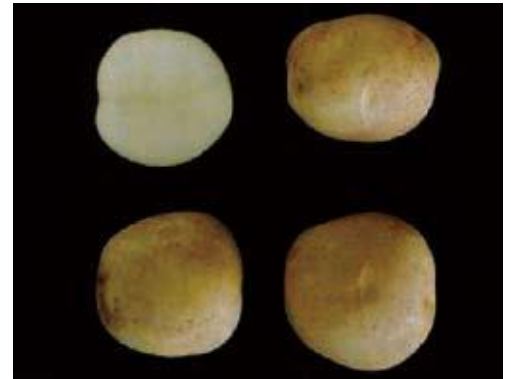
ホクレン農総研で育成、平成19年に北海道の生食用の優良品種。早生、草丈はやや低い、花色は白、球形、皮色は白黄、肉色は白、いも数は中、収量は中、粒はやや大きい、でん粉価は12～13%、肉質はやや粘、食味は「男爵薯」並、ポテトサラダ加工適性、シスト抵。



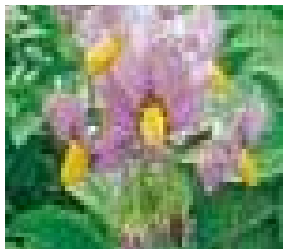
62. 【アンドーバー】 (Andover)



カルビーポテト(株)が米国より導入。平成20年に北海道の加工食品用の優良品種。中早生、草丈はやや低い、株に生理障害あり、花色は白、球形、皮色は黄褐、目は浅い、肉色は白、いも数は中、収量は少、粒大は小、でん粉価はやや低い、ポテトチップス加工適性、シスト抵。



63. 【 】 (北海97号)



北海道農研センターで育成、平成21年に北海道の生食用の優良品種。中早生、初期生育、早期肥大生はやや遅い、草丈は中、花色は紫、長卵形、皮色は黄、目は浅い、肉色は淡黄、いも数は中、収量は中、粒大は中、でん粉価はやや低い、肉質はやや粘、食味は「メークイン」並の中上、シスト抵。



【品種の用途、熟期別区分】

用途	項目	早 生	中早生	中 生	中晩生	晩 生
生食(調理)用	優良品種	男爵薯 きたかむい キタアカリ ワセシロ 十勝こがね とうや ゆきつぶら	ユキラシャ (北海 97 号)	メークイン さやあかね ベニアカリ はるか さやか スノーマーチ	農林1号 キタムラサキ マチルダ 花標津 ひかる	
	地域在来 品種等	北海 50 号 インカのめざめ 北海 98 号	ノーザンルビー インカのひとみ 529-1	スタールビー シンシア	アンデス赤 インカパープル インカレッド ジャガキッズレッド 90 ジャガキッズパープル 90 シャドークイーン	レッドムーン プレバレント
	暖地二期 作用品種		普賢丸 セトユタカ 春あかり	アイノアカ アイユタカ	デジマ ニシユタカ	
ポテトチップ 加工食品用	優良品種	ワセシロ オホーツクチップ	トヨシロ らんらんチップ ノースチップ アンドーバー	アトランチック きたひめ	農林1号 スノーデン	
	地域在来	ノーキングラセット		シェボディー		
フレンチフライ 加工食品用	優良品種		トヨシロ		ホッカイコガネ ムサマル こがね丸	
でん粉原料用	優良品種			アーリースターチ ナツフアキ	農林1号 エニフ コナフアキ	紅丸 アスタルテ サクラフアキ